

子どもたちの学力向上について

1 趣旨

学力向上のため、教員一人ひとりがこれまでに取り組んできた実践を線から面へと展開し、学校関係者が一丸となって、組織的な学力向上の取組へと高めるとともに、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、県民一人ひとりが当事者意識を持ち、教育力を高めながら一体となって子どもたちの学力を一層育む必要があります。

2 三重県の子どもたちの学力の現状と課題

- ・ 全国学力・学習状況調査（以下「全国学調」という。）において、本県の平均正答率は、小中学校のすべての教科（国語、算数・数学）で、全国平均を3年連続下回っている状況にあり、特に、小・中学校ともに国語が大きな課題です。また、無解答率や主に活用する力を問うB問題にも課題があります。
- ・ 全国学調における児童生徒及び学校に対する質問紙調査結果からは、子どもたちの学習習慣や生活習慣に課題がみられるほか、組織的・継続的に取り組む授業改善や学校体制の確立にも課題があります。
- ・ 子どもたちの学習習慣・生活習慣や学校での組織的な取組等については、それぞれ平均正答率との相関が見られます。このことから、家庭や地域と一層連携した取組や、学校における組織的な授業改善を進めることが必要です。
- ・ 学校と家庭や地域が一体となって子どもたちの学力を育むことが必要との認識から、「みえの学力向上県民運動」を進めています。

3 学力向上のための主な取組等

（1）みえの学力向上県民運動について

学校、家庭、地域がそれぞれの役割を認識し、県民一人ひとりが当事者意識を持ち、教育力を高めながら、一体となって子どもたちの学力を育むため、以下の取組を柱に、平成24年度から「みえの学力向上県民運動」に取り組んでいます。

- ① 授業力の向上
- ② 家庭・地域の教育力の向上
- ③ 読書活動の推進

(2) 先進県における取組の研究

福井県や沖縄県などの先進的な取組を研究し、以下の取組を進めています。

- ① 授業や宿題で活用できるワークシートの作成・提供
- ② みえスタディ・チェックの実施
- ③ 学校訪問を通じた校長のリーダーシップによる組織的な取組の促進
- ④ 自校採点による学力調査の早期の分析と改善 等

(3) 学力向上緊急対策チームについて

学力向上に向けた取組を横断的・一体的に推進するため、平成26年10月に県教育委員会事務局内に「学力向上緊急対策チーム」を設置しました。

平成27年度は、以下の項目に重点的に取り組みます。

- ① 指導主事・研修主事等の小中学校訪問
- ② 全国学調結果と学校質問紙調査の公表促進、市町の分析等への支援
- ③ 学力向上のための授業改善にかかる校内外の研修の充実
- ④ 学力向上のための少人数の学級編制や少人数指導等
- ⑤ 内外の優良事例等を、「学力向上通信『三重の学-Viva(まなびば)』」により定期的に情報発信
- ⑥ 学校を核とした地域づくりをめざしたコミュニティ・スクール等の推進
- ⑦ 読書習慣・生活習慣の確立に向けた県PTA連合会と連携した「チェックシート」集中取組期間の設定及び子ども読書活動推進に向けた普及啓発、市町の取組促進
- ⑧ 子どもの支援ネットワークモデル中学校区支援

4 今後の方向性

学力向上に取り組む仕組みについては、3点セット(学力調査、みえスタディ・チェック、ワークシート)の活用などにより、一定の整備が進みましたが、今後は、学校訪問等を通じて、学校における改善状況を確認し、さらに実効性のある取組が進むよう、効果的な方策を検討していきます。